

第2回 小牧市高齢者健康生きがい推進支援事業検討委員会 議事録

日 時	令和3年3月12日(金) 10時00分～10時50分
場 所	小牧市役所本庁舎 4階 404会議室
出席者	<p>【委員】(名簿順)</p> <p>関 哲雄 特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク事務局長 廣畑 英治 公益社団法人小牧市シルバー人材センター事務局長 飯塚 美由紀 春日井公共職業安定所統括職業指導官 田中 秀治 社会福祉法人小牧市社会福祉協議会地域福祉課長 山田 好広 社会福祉法人小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター長 野中 宏朋 一般財団法人こまき市民文化財団チーフマネージャー</p> <p>【事務局】</p> <p>永井 政栄 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課長 岩下 貴洋 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課健康政策係長 松浦 裕子 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課健康政策係主査 前川 桂佑 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課健康政策係主事</p>
傍聴者	0名
配付資料	<p>資料1 高齢者がいきいきと輝くまちづくり事業～R2年度実績及びR3年度事業計画</p> <p>資料2 小牧市高齢者保健福祉計画策定事業委託調査結果報告</p>
<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 令和2年度実施事業報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、資料1：高齢者がいきいきと輝くまちづくり事業～R2年度実績及びR3年度事業計画を用いて説明。 質疑、主な意見は以下の通り。 <p>田中委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合窓口がオープンしてからの各団体の様子を報告してもらえますか。 <p>廣畑委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターは、1月15日から先行オープンした。1月は利用が0であったが、2月は9件、内5件は説明会参加へとつながった。シルバー人材センターの活動内容、就業に関する相談が多く、ハローワークにつないだ件数も多い。3月は2件の相談があった。総合相談窓口の日(月曜日)は、ハローワークとタイアップしたり、いろいろな相談を受けるが、金曜日は相談が少ない。独自にPRもしていくが、市からもPRをお願いしたい。 <p>飯塚委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報こまきの効果があったのか、2月22日のオープン日は5名の方がみえ、2時間の相談時間ずっと相談を受けている状況であった。必要性があり働かなくてはならないという人が多く感じた。第2回目(3月8日)の相談者は2名で、社会貢献をお考えの方でシルバー人材センター、ファミリーサポートセンターと説明を聞き登録された後、ハローワークの相談を受けられた。相談者の中には、総合相談窓口で相談を受けた後、その日のうちにハローワークやふるさとハローワークに行ったりする方もみ 	

え、次につながったと効果も感じる。

山田委員)

- ・3月は4件の相談があり、内2件はボランティアに関するものだった。家族に認知症の方がおり、認知症関係でのボランティアをしたいということで、地域包括支援センターへつないだ。広報こまきを見て窓口相談にみえており、広報の効果を感じた。電話番号についてももっと周知できると、問合せも増えるかもしれない。今のところ問題なく運営できている。

野中委員)

- ・具体的に紐づけされた活動はないが、こまなびサロンで市民がいろいろな講座などの講師になる「市民企画講師」の登録を行っているが、例年同じ人が登録をされることが多く、新規の登録者があまりない。高齢者という枠にとらわれていないが、こういった活動の中でうまく新しい登録者が増えるとよい。

田中委員長)

- ・まさに今、総合相談窓口が動き始めたところであり、そこからみえてくるものがあると思うので、こういった切り口からまた新たにできるとよい。

関委員)

- ・市民活動に関する相談はない。ボランティアマッチングをしているが、活動していない団体さんが多く、新たに会員を増やすというより、自分たちがどのように活動していけばよいか悩んでいる。3月にオープンする新図書館に、ワクティブこまきのコーナーがあり、こういったところも活用しながら、ワクティブこまきとしても広報していきたいと考えている。例えば、相談に来た方がその後どうなったかなど、事例を使って周知できるとよいと思う。

田中委員長)

- ・走り始めた総合相談窓口ですが、場所や設備などについて「もう少しこういうことがあるといい」など意見はあるか。

飯塚委員)

- ・年金や税金などの制度についても話ができるとよい。これだけ働くと、これだけ税金がかかるなど、生活設計・ライフプランの話もできるとよい。

田中委員長)

- ・生涯設計につながると思うので、そういったことが分かるとよい。
- ・コロナ禍でいろいろな動きが止まっている中で、難しいところもあるかもしれない。そのような状況の中でも、シルバー人材センターさん、ハローワークさん、他機関へつないだという報告もあり、この事業の役割もみえてくると思うので、今後も共有しながらやっていきたいですね。

山田委員)

- ・こども・子育て会議の委員であるが、その会議の中で、子どもだけでなく高齢者に向けてもこのような総合相談窓口を行っている旨を話した。いろいろなところでPRしていければよいと思う。

田中委員長)

- ・あらゆるところでPRすることが大事ですね。

(2) 令和3年度実施事業について

- ・事務局より、資料1：高齢者がいきいきと輝くまちづくり事業～R2年度実績及びR

3年度事業計画を用いて説明。

- ・ 質疑、主な意見は以下の通り。

廣畑委員)

- ・ 愛知県労働局の事業について詳しく教えてほしい。

松浦)

- ・ 会場は選定中であるが、9月と12月に開催予定。まず、高齢者就職相談会については、主に65歳以上対象に、若者向けの合同企業展のようなイメージで、10数社ほどに実際に来てもらい、面接を行う。ハローワークの求人票も利用する予定。中高年齢離職者再就職支援セミナーは、求職活動中の45歳以上対象に、就職活動の心構え、面接対策などを講義形式と実践形式で行う。いずれも無料開催。

廣畑委員)

- ・ 昨年度、春日井市と小牧市、ハローワークさんと合同で就職フェアを開催した。それとのマッチングはどうなるのか、それぞれが行うより、調整したほうがよいのではないか。

岩下係長)

- ・ 県労働局からの話について、例年名古屋地区・尾張地区・三河地区で開催している「高齢者就労面接会及びセミナー」について、県高齢福祉課のモデル事業を受託している豊田市・豊橋市・小牧市とタイアップし、開催したいとの話があり、尾張地区の開催市として、小牧市で開催できないかと相談があった。これまでの流れとバッティングしないか、どう調整するかについては、まだ県から相談いただいたばかりなので、今後実務者会議などで、情報を共有しながら住み分けや調整など議論し、具体的な内容が分かれば、また検討させていただきたい。

飯塚委員)

- ・ 「厚生労働省労働局ハローワーク」と「愛知県労働局就業促進課」が共催して面接会を開催することもある。昨年度まで開催した「アクティブシニア就職フェア」は、ハローワーク、商工会議所、春日井、小牧市と両市のシルバー人材センターも共催した。企業20社、来場者145名の参加があった。

廣畑委員)

- ・ 愛知県シルバー人材センターで行っている国からの委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」でも名古屋でセミナーなどを行っている。こういったものを活用するのもよい。今まで小牧での開催はないが、手を挙げれば、小牧で開催できるかもしれない。

岩下係長)

- ・ 今回県労働局から場所を貸してほしいという話があり前向きに検討しているが、それ以外でもさまざまな相談会などがあると話を聞きましたので、実務者会議で話し合いながら、進めていきたい。

山田委員)

- ・ コロナ禍でボランティア活動が中止になるなど、心が弱っている方の支援などもお願いしたい。

野中委員)

- ・ 総合相談窓口に目的があって来ている人が多いと思うが、就労・余暇・ボランティア・生きがい、セパレートでなく、かぶせられる仕組みや仕掛けがあるとよいと思う。

岩下係長)

- ・ 2月22日に実務者会議を開催したときに、同じ話をしていました。相談としては、就労

メインの方が多かったが、ボランティアや市民活動など他の活動を伝えてよいのか、悩むという話があった。チラシを渡すなど、他の活動も知ってもらうきっかけになる取組みもできるとよいと、実務者会で共有したところである。

関委員)

- ・総合相談窓口の告知以外にも、例えば春日井市でもこういうセミナーやっているなど、情報をもらえれば他の情報もだしていきたいと思う。

田中委員長)

- ・具体的に何をやっていくのかは、これからになるのか。

岩下係長)

- ・具体的に何をやっていくのか、事業計画をこれから実務者会議で詰めていき実施したい。資料1の10ページの4つの事業を中心としつつも、11ページのその他事業についてもできるところから始めていきたいと思っている。

田中委員長)

- ・その他の事業は、各セクション毎に主となって行うのか。

岩下係長)

- ・実務者会議で自分のセクションに関係なく来年度実施すべき事業について意見を出し合い、投票を行った。その結果、優先度の高いものを4つ出させていただいたが、せっかく様々な部署が集まっているので、その他の事業についてもこのメンバーでできるものを各セクション毎でなく全員で関わっていきたいと考えている。

廣畑委員)

- ・その他の事業について、シルバー人材センターでは、職業体験会、剪定講習会、病院への移送(付き添い)も行っている。実務者会議などで詰めていってほしい。

田中委員長)

- ・事業計画については、承認でよいか。

(特に異議なし)

岩下係長)

- ・事務局から2点の連絡。
議事録について、事務局で作成し、委員の皆さんに確認していただいた後、市ホームページで公開していきたい。
- ・総合相談窓口オープン時には緊急事態宣言中ということもあり、広報こまき2月15日の裏面に掲載した以外のPRができなかった。実務者会議において、各機関における広報計画を作成し、共有した。今後、LINE、facebookなど積極的に周知していきたいと考えており、それぞれ各機関においても周知をお願いしたい。

3. 閉会